DVDプレーヤ開発での最重要キーパーツの一つ

| 登録番号 | 第 00294 号 | | |
|-------|-----------|------|-----|
| 登録年月日 | 令和2年9月15日 | 登録区分 | 第一種 |

| 名称 (型式等) | MPEG2デコーダ LSI 「TC81201F」 | | |
|----------------|---|--|--|
| 所 在 地 | 神奈川県川崎市 | | |
| | 東芝未来科学館 | | |
| 所 有 者 (管理者) | 株式会社 東芝 | | |
| 製作者(社) | 株式会社 東芝 | | |
| 製作年 | 1996年 | | |
| 初出年 | 1996年 | | |
| 選定理由 | DVDでは要求される画質を、限られた容量のディスクにデジタルデータとして記録するため、MPEG2圧縮が採用された。このMPEG2信号のデコードには大規模な電子回路が必要だが、家庭用DVD機器の実現には1チップの素子開発が必須と考えられた。既に存在したMPEG2デコーダICを基礎にして、DVDに特化した1チップLSIとして開発された世界初のDVD用MPEG2デコーダLSIである。最重要な基幹部品として採用され、家庭用DVDプレーヤの発売が実現した。後継として周辺機能を取り込んだ高集積なLSIが開発され、DVD機器の発達に貢献していくことになるが、その基礎となったLSIとして重要である。 | | |
| 登録基準 | ――ロ (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの) | | |

